

平成30年度

学 生 募 集 要 項

〔 帰 国 子 女 入 試 〕
〔 社 会 人 入 試 〕
〔 私 費 外 国 人 留 学 生 入 試 〕



宮 崎 大 学

平成30年度 入学試験日程

\	帰国子女入試 社会人入試	私費外国人留学生入試
出願期間	平成29年11月1日(水) ～11月6日(月)	平成30年1月17日(水) ～1月19日(金)
試験日	平成29年11月22日(水)	教育学部・工学部・農学部・ 地域資源創成学部 平成30年2月8日(木) 医学部 平成30年2月25日(日)
合格者発表	平成29年12月1日(金)	教育学部・工学部・農学部・ 地域資源創成学部 平成30年2月27日(火) 医学部 平成30年3月7日(水)
入学手続期間	平成30年2月14日(水)まで 17時必着 ※原則郵送	平成30年3月15日(木)まで 17時必着 ※原則郵送

目 次

I	学部のアドミッション・ポリシー	1
II	帰国子女入試	
1.	実施する学部（学科・課程）及び募集人員	13
2.	出願資格	13
3.	出願手続	14
4.	選抜方法	15
5.	試験日程及び試験場	16
III	社会人入試	
1.	実施する学部（学科）及び募集人員	17
2.	出願資格	17
3.	出願手続	18
4.	選抜方法	19
5.	試験日程及び試験場	19
IV	私費外国人留学生入試	
1.	実施する学部（学科・課程）及び募集人員	20
2.	出願資格	20
3.	出願手続	21
4.	選抜方法	22
5.	試験日程及び試験場	24
V	共通事項	
1.	注意事項	25
2.	受験票の交付	25
3.	障害等のある入学志願者の事前相談	25
4.	受験上の注意事項	26
5.	合格者発表	27
6.	入学手続等	27
VI	個人情報の取扱いについて	29
VII	入学試験成績の情報開示	30
VIII	試験場配置図	31

※ 学生寄宿舍への入居を希望する者は「V 共通事項 6.入学手続等」をよく読んでください。

I. 学部のアドミッション・ポリシー

1. 教育学部

(1) 課程・コースのアドミッション・ポリシー

課程・コース	課程・コースのアドミッション・ポリシー
小 中 一 貫 教 育 コ ー ス	<p>小中一貫教育コースでは、児童・生徒の長期にわたる発達過程を見通す見識、児童・生徒への深い理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>小中一貫教育コースでは、小学校・中学校・小中一貫校の教員等を目指す教職への意欲にあふれ、教職に必要なたしかな知識・技能(以下、「知識・技能」)について研鑽を積み、教育課題を解決するために必要な思考力(以下、「思考力」)と児童・生徒への適確な指導に資する表現力(以下、「表現力」)と学校現場で生きる協調性(以下、「協調性」)をもち、それらをしっかりと身につけるべく一層の努力を怠らない人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試(前期日程・後期日程) 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2-1) 推薦入試(小学校主免専攻) 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では教職への意欲、「協調性」について評価します。 推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>2-2) 推薦入試(中学校主免専攻, 専門学科枠) 高等学校専門学科等での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さないかわりに、面接、小論文、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では教職への意欲、「知識・技能」、「協調性」について評価します。 小論文では教職への意欲、「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書、調査書、志望理由書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>3) A0 入試(中学校主免専攻) 得意とする教科を有し、入学後もその教科を専修とすることを希望する者に対し、大学入試センター試験を課した上で、面接、各教科の定める個別審査、自己推薦書、志望理由書、実技・活動等に関する調書によって多様な能力を総合的に判断します。 大学入試センター試験では「知識・技能」について評価します。 面接、自己推薦書、志望理由書及び実技・活動等に関する調書では教職への意欲、「知識・技能」、「思考力」「表現力」、「協調性」について評価します。 各教科の定める個別審査では、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」について評価します。</p> <p>4) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「知識・技能」、「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>	
教 職 実 践 基 礎 コ ー ス	<p>教職実践基礎コースでは、幼児期から青年期にわたる長期の発達過程を見通した上で、幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校に共通する教職に関する高い専門性を持ち、現代の教育課題に多角的に対応できる教員の養成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>教職実践基礎コースでは幼稚園・小学校・中学校・小中一貫校における教育に対して熱意を持って取り組み、教科全般に関わる基礎学力、また、得意とする分野の学力や技能(以下、「知識・技能」)を有し、これらを教育実践に活用しようとする教職への意欲を持っている人、現代の教育課題に対応するために、幅広い学問や文化を意欲的に学び、広い視野を身につけ、それを幼児教育・初等教育・中学校教育・小中一貫教育に生かす思考力・表現力(以下、「思考力・表現力」)を持っている人、また、学び続ける喜びを幼児・児童・生徒と共有したいと考え、宮崎県をはじめとする地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる協調性(以下、「協調性」)を持っている人を求めています。</p>

課程・コース	課程・コースのアドミッション・ポリシー			
教職実践基礎コース		<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、「知識・技能」、「思考力」、「表現力」を総合的に判断します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接、小論文及び出願書類（推薦書、調査書及び志望理由書）によって、宮崎県の教員をめざし、地域に根ざす学校づくりの有力な一員となる意欲と、現代の教育課題に対応するために他者と協力して課題解決しようとする意欲を持つ人を受け入れるために、多様な能力を総合的に判断します。 面接では「協調性」、教職への意欲について評価します。 小論文では「思考力」、「表現力」について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、「思考力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分に身につけると同時に、「思考力」、「表現力」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>		
		学校教育課程	子ども理解専攻	<p>子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期にわたる子どもの心理、発達過程を見通す深い見識と理解力、教員としての使命感、責任感、教育的愛情を身につけた教員の養成を目的としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>子ども理解専攻では、幼児期から児童思春期の子どもに対する意欲にあふれ、（教職に必要なたしか知識・技能（以下、「知識・技能」））について研鑽を積み、（目標に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・主体性（以下、「思考力・主体性」））と（児童・生徒への適確な指導に資する表現力（以下、「表現力」））と（学校現場で子どもと保護者と信頼関係を築き、同僚と協力して問題に取り組んでいける対人関係能力（以下、「協調性」））を身につけるための努力を怠らない人材を求めています。</p> <p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を総合的に判断します。 大学入試センター試験と個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力」について評価します。 面接では、「知識・技能」、「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課した上で、面接、推薦書・調査書・志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では「思考力・主体性」、「協調性」、「表現力」、教職への意欲について評価します。 推薦書・調査書では「知識・技能」、教職への意欲について評価します。 志望理由書では「表現力」、教職への意欲について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接によって「思考力・主体性」、「表現力」、「協調性」、教職への意欲を評価します。</p> <p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「思考力・主体性」、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人コミュニケーション能力を身につけておくことが望まれます。</p>
				<p>特別支援教育専攻では、障害のある児童・生徒それぞれの発達や特徴を捉える見識と深い児童理解力を持って初等教育を施すことができ、その上で障害に基づく種々の課題や困難を改善または克服するのに必要な知識、技能、態度及び習慣を養うための指導ができる特別支援学校教員の養成を目的としています。</p> <p>1. 求める学生像</p> <p>特別支援教育専攻では「特別支援教育に対して意欲（以下、「特別支援教育への意欲」）」を持って取り組み、「特別支援教育に関する学修に十分対応できる基礎学力や基礎技能（以下、「知識・技能」）」を有し、「目標達成に向けて強い意志と行動を貫くことができる思考力・表現力（以下、「思考力・表現力」）」、</p>

課程・コース	課程・コースのアドミッション・ポリシー	
学 校 教 育 課 程	発 達 支 援 教 育 コ ー ス	<p>「愛情豊かに他者を思いやることができる協調性（以下、「協調性」）」を持つ人、また、「学習を通して獲得した知識・技能・行動力を教育現場に還元するための粘り強く創意工夫する力や向上心（以下、「創意工夫・向上心」）」を有している人材を求めています。</p>
		<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
		<p>1) 一般入試（前期日程） 高等学校までに修得した基礎的学力と得意とする教科についての大学の学習で必要となる発展的学力について、大学入試センター試験、個別学力検査、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。 大学入試センター試験及び個別学力検査では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。 面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さず、小論文、面接、推薦書・調査書によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、「知識・技能」、「思考力・表現力」について評価します。 面接では、「特別支援教育への意欲」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」について評価します。 推薦書・調査書では、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p> <p>4) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対して、小論文、面接によって、「特別支援教育への意欲」、「知識・技能」、「思考力・表現力」、「協調性」、「創意工夫・向上心」を総合的に判断します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>		
<p>高等学校で履修した国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語などの科目に関する基礎的学力を十分身につけておくことが望まれます。また、「協調性」など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身につけておくことが望まれます。</p>		

2. 医 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
医 学 科	<p>医学科では、臨床医、医学研究者、あるいは医学教育者として宮崎の地域医療に貢献し国際的にも活躍できる、優れた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験及び面接によって多様な能力を総合的に判断します。 高等学校までに修得した基礎的な学力など理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験によって知識・技能を評価します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、日本留学試験、個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高校で履修した科目に関する基礎学力について十分な深達度を得ていることが望まれる。さらに、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれる。</p>
看護学科	<p>看護学科では、看護による健康への支援を通して、社会と地域の保健医療に貢献できる人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>看護学科では看護職者になろうという目的意識と看護学を学ぶために必要な基礎学力（知識・技能）を有し、生活している人々の身体的・精神的健康への関心（学問への関心）、自ら課題を見つけ解決しようとする意欲と行動力（主体性・多様性）、他者への共感と円滑なコミュニケーション能力（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる学習意欲の高い人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価します。 面接では主体性、協調性・思考力・表現力、学問への関心について評価します。 後期日程で課す小論文では提示する課題を読解し、自己の見解をまとめ論理的に表現できるかどうかを評価します。それによって、思考力、表現力、主体性・多様性について評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除するかわりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性・思考力・表現力、学問への関心について評価します。 小論文では提示する課題についてまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを評価します。それによって、思考力、表現力、主体性・多様性について評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>入試科目として課しているかどうかにかかわらず国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。 また、国際化の時代にあって、海外から看護の知識を導入し、わが国の看護の成果を発信していくためにも国際語である英語を学習する必要がある。</p>

3. 工 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
環境応用 化学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>環境応用化学科では、企業等で実践力を有する工学専門職としてグローバルに活躍できる技術者の育成を教育の目標に掲げ、学士課程を通じて以下の資質や能力を身に付けた人材の育成を行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 自然との共生、環境との調和および社会への貢献の視点を持ち、社会的責任感と科学的倫理観をもって物事を判断する能力 2) 産業界で技術者として活躍するために必要な工学および化学の基礎を習得し、実験や観察の結果を考察でき、問題解決に柔軟に応用する能力 3) 自主的、継続的な学習により知識や技術を高め、それらを課題の探求と解決に生かし、正しく明瞭にまとめ伝える能力 <p>そこで、環境応用化学科では、化学、化学工学および生物工学を基礎として、地球環境や生態系を保全する物質・資源・エネルギーの生産及び循環プロセスに関する技術の創造と発展に貢献できる人材の育成を目的とした教育研究を行います。</p> <p>したがって、本学科では次のような人材を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 化学の知識・技術・考え方を真剣に学び、それを将来、応用化学あるいは環境・生物工学などの分野で活かしたいという情熱を持っている人（主体性） 2) 化学及び環境に関連する自然科学に対して幅広い興味や好奇心を持っている人（学問への関心） 3) 実験や観察が好きで科学現象について考え、それを表現できる人（思考力、表現力） 4) 数学、化学を含む理科及び語学の基礎学力を有し、それを身近な問題に応用できる人（知識・理解）
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校で修得した基礎的な学力と環境応用化学を学習する上で重要な理数系科目、および英語の学力について、大学入試センター試験と個別学力試験によって、知識・理解および思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、面接と小論文によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および資質を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、および日本留学試験によって自然科学や語学の基礎学力ならびに環境応用化学への強い学修意欲および日本語によるコミュニケーション能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、主体性、および学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に与えられた課題に対する自分の考えをまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、思考力と表現力を評価します。 日本留学生試験では、知識・理解および思考力について評価します。
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高等学校または高等専門学校等で履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくことが必要です。特に、化学、数学および物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な内容を修得しておくことを求めます。さらに、協調性およびコミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
	社会環境 システム 工 学 科
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。 2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び、小論文及び出願書類によって多様な能力を総合的に判断します。 	

学科	学科のアドミッション・ポリシー
社会環境システム工学科	<p>面接では主体性、学問への関心について評価します。 小論文では表現力について評価します。 出願書類では知識・理解、主体性、学問への関心について審査します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す入試科目として課しているかどうかに関わらず、数学、物理、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>
環境ロボティクス学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>環境ロボティクス学科では、技術者としての倫理観、問題解決能力、専門分野で通用するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、環境ロボティクス学科では、機械・電気電子・化学およびコンピュータ等の先端技術に関連する分野、ならびにロボット、介護・福祉機器、環境制御などの設計開発と生活環境や自然環境の改善に関連する学問への関心がある人材を求めています。</p> <p>また、実験や観察において深く考察する思考力と、その結果の表現力、数学、理科、英語に関する知識・理解、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元できる主体性がある人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に着けると同時に、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望まれます。</p>
機械設計システム工学科	<p>1. 求める学生像</p> <p>機械設計システム工学科では、機械と自然との調和を考える能力、社会秩序や環境保護に対する技術者の責務を考える能力、資源とエネルギーの有効利用を考える能力、機械工学に関連する問題解決能力と創造力、アイデアを実現できるデザイン能力およびそれを説明するコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、機械設計システム工学科では「人と自然に優しいものづくり」に関連する技術の開発や研究に対して熱意を持って取り組み、数学及び理科の基礎的な知識・理解を有し、コミュニケーション能力を身に付ける上で必要となる語学能力と学問への関心を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる意欲溢れる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎科目と理数系科目など大学の学習で必要となる学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文では、思考力、表現力を評価します。 面接では知識・理解、主体性、学問への関心について評価します。 書類審査では機械工学を学ぶ者として必要な資質・態度を審査します。それによって、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、小論文、面接、日本留学試験及び書類審査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>数学、物理・化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、自主的・継続的に学習する能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電子物理 工 学 科	<p>1. 求める学生像</p> <p>電子物理工学科では、人間の文化、社会、自然、及び専攻する学問分野の知識・技能、社会の一員としての意識をもった人間性、社会性、国際性、課題を発見し、情報や知識を複眼的、倫理的に分析して、その課題を解決する力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電子物理工学科では、太陽光発電やエネルギー計測といった最先端の産業分野に対して熱意を持って取り組み、専門技術者として必要な基礎および専門的な知識・技能を有し、課題を見出し解決に向けて対応できる思考力と自ら学習計画を立て、主体的に学ぶ力を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる課題の解決へ向けて積極的に行動できる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を課さない場合は、口頭試問を含む面接、志望理由書及び調査書・推薦書によって多様な能力を総合的に判断します。また、大学入試センター試験を課す場合は、面接、志望理由書及び調査書・推薦書及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 志望理由書では、自然科学や科学技術への関心度を審査します。それによって、表現力、学問への関心について評価します。 調査書・推薦書では、高校生活の諸活動を審査します。それによって、主体性について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを審査します。それによって、表現力、主体性を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心の評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>センター試験で課す物理、数学、化学など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、表現力、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>電気システム工学科では、技術者にとって必要となる数学を含めた自然科学の知識、電気エネルギーおよび情報通信分野に関する専門技術と実践能力、課題探求能力、課題解決能力およびデザイン能力を有し、多様なグローバル社会の要請に応え得る能力、技術者に求められるコミュニケーション能力、技術者に求められる倫理観、課題や問題に対して、自律的、継続的に取り組むことができる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p> <p>そこで、電気システム工学科では、電気電子工学分野に対して熱意を持って取り組み、国際的な視野を有し、常に自分が何をもって社会に貢献できるかを問い続ける柔軟な考え方や数学、理科、英語などの基礎的な学力、基礎的な表現力を持つ人、また、問題解決へ向けて、自分から積極的に目標と計画を立て、強い意志をもって持続的に取り組むことができる人を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p> <p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目を中心に大学の学習で必要となる専門科目を理解出来る基礎学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、一般入試では評価・確認が困難と思われる特徴的な資質・能力や学習意欲が備わっている人を受け入れます。 大学入試センター試験を課す推薦入試では、理数系科目を中心に、電気システム工学科で学ぶ専門科目を理解出来る基礎学力が備わっていることに加えて、センター試験、面接、小論文、調査書及び志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 センター試験では、知識・理解について評価します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 調査書では、知識・理解を調査します。 志望理由書では、表現力、学問への関心について評価します。 それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 大学入試センター試験を課さない推薦入試では、科学技術に対する強い興味と学習意欲を持っていることに加えて、面接、小論文、調査書及び志望理由書によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。 調査書では、知識・理解を調査します。 志望理由書では、表現力、学問への関心について評価します。 それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心について評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
電気システム工学科	<p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、技術者に必要な能力に加えて国際性や語学力、日本で研鑽する熱意、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、履修すべき教科・科目について偏りなく履修しておくこと、電気システム工学分野の中核的科目である数学と物理については、それらの基本的な知識と理解を有し、さらに教科書レベルの標準的な問題を解くことができることなど、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>
情報システム工学科	<p>1. 求める学生像 情報システム工学科では、社会に対する責任感、問題解決能力、専門分野で通用する高度なコミュニケーション能力を身に付けた人材の育成を目標としています。 そこで、情報システム工学科では、情報科学技術を通じ、人類の幸福と社会の発展に貢献しようと熱意を持って取り組み、公式を覚えるのではなく公式そのものを導出できる知識・技能を有し、情報工学の学習に必要な数学、理科、英語についての基礎学力を持ち、明確な目標を持って継続的に自己学習を続けられる主体性を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる情熱に溢れる人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 a) センター試験を課さない推薦入試 工業系高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、知識・理解、思考力、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>b) センター試験を課す推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、面接及び小論文によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、主体性、学問への関心について評価します。 小論文では、限られた時間に自分の主張をまとめ、それを論理的に表現できるかどうかを調査します。それによって、表現力を評価します。</p> <p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと センター試験で課す数学、物理、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことを望みます。</p>

4. 農 学 部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学科	学科のアドミッション・ポリシー
植物生産環境科学科	<p>植物生産環境科学科では、農学に関する基礎知識、植物生産、生産環境、並びに環境調和型農業に関する基礎的・応用的知識、専門分野に関する国際的視点、社会貢献力および指導力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>植物生産環境科学科では、安全・高品質な農・園芸作物の安定供給に対して熱意を持って取り組み（主体性）、自然現象に対する強い知的好奇心と自然環境に配慮した農業生産に対する関心（学問への関心）を有する人、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科の基礎的学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を地域・社会に還元することができ（協調性）、国際的な視野と責任感を有する人を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文、出願書類によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>	
<p>数学、理科、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、コミュニケーション能力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	
森林緑地環境科学科	<p>森林緑地環境科学科では、森林・緑地の機能に関する基礎的・応用的知識と国際的視点や課題解決能力、自然環境や国土保全及び水資源利用に関する基礎的・応用的知識、樹木・菌類及び非生物材料の特性に関する基礎的・応用的知識、多機能型森林緑地管理に関する基礎的・応用的知識と計画・実行力、環境と調和した材料の開発力と緑化の実践力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>森林緑地環境科学科では、森林・緑地の環境保全と生態系の修復、森林資源や水資源の循環的・安定的利用に対して熱意を持って取り組み（主体性）、森林・緑地に関連する自然科学と社会現象に幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科に関する基礎的学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元する情熱と責任感を持つ（協調性）人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
森林緑地 環境科 学 科	<p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
	<p>理科、数学、外国語など、高等学校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、勉学において自ら興味を深め課題を発見する姿勢、多様な意見を聞きながら課題解決を図る態度を身に付けておくことが望ましい。</p>
応用生物 科 学 科	<p>応用生物科学科では、農学に関する基礎知識、数学および自然科学に関する基礎知識、応用生物学に関する知識、技術者の社会的責任、制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>応用生物科学科ではバイオサイエンス分野の先端技術の獲得、食品機能の探求や環境保全に対して熱意を持って取り組み（主体性）、動植物や微生物の機能や利用に対する深い関心（学問への関心）を有し、実験結果や観察内容を深く考察し（思考力）、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる化学や生物、英語に関する学力を有する人（知識・理解）、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を応用生物学分野の技術者として社会に還元することのできる人材（協調性）を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる理科についての発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、知識・理解、思考力、学問への関心、協調性について評価します。 書類審査では調査書、推薦書、志望理由書を審査します。それによって、主体性、知識・理解、学問への関心、表現力、協調性について評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、協調性を評価します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接、書類審査によって、知識・理解、主体性、協調性、思考力、表現力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、協調性、主体性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>
<p>理科（特に化学・生物）、数学、英語、国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	
海洋生物 環境学 科	<p>海洋生物環境学科では、農学に関する基礎知識、水圏に関する専門的基礎知識と専門的知識を応用できる能力、環境と食糧生産の諸問題に関する分析力、環境と食糧生産の諸問題の解決に貢献する力、地域社会や国際社会で活躍できる能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>海洋生物環境学科では、海洋生物や水圏環境の保全、水域生物の生産・利活用、水族の生理機能に深い興味（学問への関心）を有し、海洋環境と生物生産の諸問題の解決に熱意をもって取り組み（主体性）、実験や観察において深く考察（思考力）し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や自然科学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる（協調性）人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では、表現力、主体性、学問への関心および思考力を評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解を評価します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力および協調性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>

学科	学科のアドミッション・ポリシー
海洋生物 環境学科	<p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、表現力、主体性、学問への関心、思考力および協調性を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、表現力、主体性、知識・理解、学問への関心、思考力および協調性を評価します。</p>
	<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性、表現力など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>
	畜産草地 科学科
<p>1. 求める学生像</p> <p>畜産草地科学科では、資源循環、環境の保全、家畜の福祉などに配慮した持続的な畜産業の構築に対して熱意（主体性）を持って取り組み、動植物に対する幅広い興味や関心（学問への関心）を有し、実験や観察において深く考察する能力（思考力）を有し、その結果を表現する力（表現力）、大学での学修の基盤となる幅広い知識や生物、化学に関する基礎学力（知識・理解）を有する人、また、学修を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会の一員として地域・世界に還元することのできる資質（協調性）を有する人材を求めています。</p>	
<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>	
<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力を総合的に評価します。</p>	
<p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、面接及び書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 面接では主体性、協調性、学問への関心について評価します。 書類審査では推薦書、調査書、志望理由書を審査します。それによって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、学問への関心を評価します。</p>	
<p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接と小論文によって、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接と書類審査によって、主体性、協調性、学問への関心、知識・理解、思考力を評価します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文、日本留学試験、出願書類によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価します。</p>	
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>生物、化学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	
獣医学科	<p>獣医学科では、農学に関する基礎知識、獣医専門知識、獣医的倫理観、獣医的応用・実践・開拓力、地域・国際社会への貢献能力を身に付けた人材の育成を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p> <p>獣医学科では大学での学修の基盤となる幅広い知識や理科、数学、語学に関する基礎学力を持ち（知識・理解）、自然科学に対する幅広い興味や関心を有し（学問への関心）、ヒトと動物の健康ならびに福祉の向上に必要な高度な専門知識の修得に対して主体的に取り組むことができる（主体性）人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解を総合的に評価します。</p>
	<p>2) 帰国子女入試 帰国子女に対し、面接、小論文によって、知識・理解、主体性、学問への関心を評価します。</p>
	<p>3) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、面接、小論文によって、知識・理解、主体性、学問への関心を評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p> <p>試験で課す理科、数学、英語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、主体性、協調性など、大学での学習の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	

5. 地域資源創成学部

(1) 学科のアドミッション・ポリシー

学 科	学科のアドミッション・ポリシー
地域資源 創成学科	<p>地域資源創成学部では、地域資源を活用し新たな価値を創成する企画力・実践力の育成を図り、地域の活性化に不可欠なイノベーション創出に向けたマネジメントの知識と、地域資源の価値を複眼的に捉える視野を持った人材を養成し、実社会で即戦力として活躍できる人材の輩出を目標としています。</p>
	<p>1. 求める学生像</p>
	<p>地域資源創成学部では地域振興に対して熱意（学問への関心）を持って取り組み、社会科学および自然科学に対する基礎学力（知識・理解）を有し、コミュニケーション能力・表現力と思考力・判断力を持つ人、また学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる強い意思を持った人材を求めています。</p>
	<p>2. 入学者選抜の基本方針</p>
	<p>1) 一般入試（前期日程・後期日程） 高等学校までに修得した基礎的な学力と社会科学および自然科学系科目など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p> <p>2) 推薦入試 高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験を免除する代わりに、小論文、面接、書類審査によって多様な能力を総合的に判断します。 小論文、面接では、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心について評価し、書類審査では、知識・理解、主体性を審査します。</p> <p>3) 帰国子女入試 帰国子女に対し、小論文、面接によって、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心の評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>4) 社会人入試 社会人に対し、面接によって、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心の評価し、書類審査によって知識・理解を審査します。</p> <p>5) 私費外国人留学生入試 外国人留学生に対し、日本留学試験、小論文、面接によって、知識・理解、思考力、表現力、主体性、コミュニケーション能力、学問への関心を総合的に評価します。</p>
<p>3. 入学までに身に付けてほしいこと</p>	
<p>入試科目として課しているかにかかわらず、国語、地歴・公民、数学、理科、外国語など、高校で履修した科目に関する基礎学力を十分に身に付けると同時に、協調性、主体性など、大学での学修の効果を高め、充実した学生生活を送るために必要な対人スキルを身に付けておくことが望ましい。</p>	

Ⅱ 帰国子女入試

1. 実施する学部（学科・課程）及び募集人員

学部（学科・課程）		コース・専攻		募集人員
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	各コース・ 専攻とも 若干人
			中学校主免専攻	
		教職実践基礎コース		
		発達支援教育コース	子ども理解専攻	
特別支援教育専攻				
農学部	植物生産環境科学科			各学科とも 若干人
	森林緑地環境科学科			
	応用生物科学科			
	海洋生物環境学科			
	畜産草地科学科			
	獣医学科			
地域資源創成学部	地域資源創成学科			若干人

（注）入学後の教育は、一般入試により入学した者と同様に行います。

2. 出願資格

日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者であって、保護者の海外勤務等の事情により外国の学校教育を受けた者で、次の各号のいずれかに該当する者

- （1）学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を外国又は日本において、平成28年4月1日から平成30年3月31日までに卒業（修了）した者又は卒業（修了）見込みの者で、卒業（修了）時点から起算して過去4年間の内、外国において2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者
 - ② 外国に設置されたものであっても日本の学校教育に準拠した教育を実施している学校に在学した者については、その期間を外国において学校教育を受けた者とはみなしません。
- （2）外国において、国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル資格）のいずれかを平成28年又は平成29年に授与された者で、平成30年3月31日までに18歳に達する者
 - ② GCE-Aレベル資格の必要な科目数・評価については、宮崎大学学生支援部入試課（0985-58-7138）までお問い合わせください。

3. 出願手続

(1) 出願書類

出願書類	摘 要
入学志願票	本要項に添付の用紙を使用してください。
受験票・写真票	本要項に添付の用紙に所要事項を記入し、それぞれに同一の写真を貼付してください。写真は、正面上半身無帽（縦4cm×横3cm）で出願以前6か月以内に撮影したものを使用してください。
検定料振込証明書貼付台紙	下記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「 C票 検定料振込証明書 」を本要項添付の台紙に貼付してください。
検 定 料 (17,000円)	本要項添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。
身 上 記 録	本要項に添付の身上記録用紙（綴込みのもの）に記載してください。なお、農学部植物生産環境科学科において、TOEFL等の成績や有する資格を記入する場合は、その証明書（写し）を添付してください。
本人自筆の志望理由書 (農学部植物生産環境科学科及び獣医学科志願者のみ)	様式は任意ですが、必ず本人が自筆したものに限りませう。 (農学部植物生産環境科学科を志望する場合は日本語で3,000字程度、獣医学科は日本語で800字程度)
卒業(修了)証明書 成績証明書 資格証明書等	次の①～⑤のいずれかを提出してください。 ① 出身高等学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書及び成績証明書(出身高等学校長が作成したもの) また、日本の高等学校又は中等教育学校に在学したことがある場合は、併せて在学高等学校長又は在学中等教育学校長の作成した所定の調査書又は成績証明書 なお、記載事項内容(科目名、成績等)が記号等で示されている場合は、必ずその説明文を付してください。 ② 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書(写)及び最終試験6科目の成績評価証明書 ③ アビトゥーア資格を取得した者は、成績の記載されている一般的大学入学資格証明書(写) ④ バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書(写)及びバカロレア資格試験成績証明書 ⑤ GCE-Aレベル資格を取得した者は、その成績評価証明書
受験票等送付用封筒	本要項に添付の封筒に 切手(362円) を貼り、志願者の住所、氏名、郵便番号を記入してください。
あ て 名 票	本要項に添付のあて名票用紙に合格通知及び入学手続関係書類を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入してください。

注) 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

(2) 出願書類の受付期間

平成29年11月1日(水)から11月6日(月)まで

- 1) 持参する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く8時30分から17時までとします。
- 2) 郵送する場合は必ず書留速達とし、**受付期間内必着(11月6日(月)17時必着)**とします。

なお、受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。

(3) 出願方法及び出願先

- 1) 出願書類は一括して、本要項に添付の封筒に入れ、厳封のうえ持参又は郵送してください。
- 2) 出願書類のうち、**外国の学校又は機関が作成する書類で日本語以外の場合は、必ず日本語訳を添付してください。**
- 3) 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合には受理しないこともありますので十分注意してください。
- 4) 出願書類の提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電話 (0985) 58-7138
FAX (0985) 58-2865

4. 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文、面接及び出願書類の結果を総合して選抜します。

実施方法

学部	学科・課程	種別	所要時間等及び内容
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	小論文	1,000字程度 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望動機、本課程への適性、卒業後の進路等
農学部	植物生産環境科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、本学科に対する適性(高等学校で履修した英語、理科に関する基礎知識)卒業後の進路、その他
農学部	森林緑地環境科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他

学部	学科・課程	種別	所要時間等及び内容
農 学 部	応用生物科学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語の読み、書き、表現力の能力、本学科に対する適性（英語、化学と生物に関する基礎知識）、志望理由、卒業後の進路、その他
	海洋生物環境学科	小論文	1,200字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
畜産草地科学科	小論文	1,200字以内 90分	
	面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他	
獣医学科	小論文	1,000字以内 90分	
	面接	個人面接 15分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他	
創地 成域 学資 部源	地域資源創成学科	小論文	1,000字程度 90分
面接		個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、本学科への適性、卒業後の進路、コミュニケーション能力等	

5. 試験日程及び試験場

試験日	学部	学力検査等	時間	試験場
平成29年11月22日（水）	教育学部 農学部 地域資源創成学部	小論文	9:00～	各学部 試験場
		面接	11:00～ ※農学部獣医学科のみ 11:15～	

- （備考） 1. 受験する科目の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。
2. 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。

Ⅲ 社会人入試

1. 実施する学部（学科）及び募集人員

学部・学科		募集人員
農学部	植物生産環境科学科	各学科とも 若干人
	森林緑地環境科学科	
	応用生物科学科	
	海洋生物環境学科	
	畜産草地科学科	
地域資源創成学部	地域資源創成学科	若干人

(注) 入学後の教育は、一般入試により入学した者と同様に行います。

2. 出願資格

平成30年4月1日現在で、次の(1)から(3)のいずれかに該当する者のうち、社会人経験を5年以上【注を参照】有する年齢23歳以上の者

- (1) 高等学校を卒業した者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者
- (3) その他、学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※上記(3)に該当する者のうち、本学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする者は、宮崎大学学生支援部入試課にお問い合わせください。

なお、詳細は本学ホームページ (<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/require>) にも掲載してありますので、ご参照ください。

[注] (1) 就業しながら、定時制又は通信制の高等学校に在学した期間は、社会人経験に含めます。

(2) 家事・家業・パート等の従事期間も社会人経験に含めます。

3. 出願手続

(1) 出願書類

出 願 書 類	摘 要
入 学 志 願 票	本要項に添付の用紙を使用してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	本要項に添付の用紙に所要事項を記入し、それぞれに同一の写真を貼付してください。写真は、正面上半身無帽（縦4cm×横3cm）で出願以前6か月以内に撮影したものを使用してください。
検定料振込証明書貼付台紙	下記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「 C票 検定料振込証明書 」を本要項添付の台紙に貼付してください。
検 定 料 (17,000円)	本要項添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。
調 査 書 等	<p>文部科学省所定の様式により、出身高等学校長等が作成し、厳封したものを提出してください。出身高等学校等において指導要録が保存年限を超え、調査書を発行できない場合には、その旨を記した証明書、単位修得証明書及び卒業証明書の3つの提出をもって、これに代えることができます。</p> <p>高等学校卒業程度認定試験合格者（合格見込みの者及び大学入学資格検定合格者を含む。）は、合格成績証明書（合格見込みの者においては合格見込みを証明する書類）を提出してください。なお、高等学校等での取得単位を有する者は、当該高等学校長等が作成した調査書又は成績証明書を併せて提出してください。</p>
本人自筆の志望理由書 (農学部植物生産環境科学科、 応用生物科学科及び地域資源 創成学部志願者のみ)	様式は任意ですが、必ず本人が自筆したものに限りませう。
卒業（修了）証明書	出身高等学校長が作成したもの。
履 歴 書	<p>様式は任意。</p> <p>学歴は初等教育から記載し、職歴についても空白期間のないように記載してください。なお、農学部植物生産環境科学科において、有する資格やTOEFL等の成績を記入する場合は、その証明書（写し）を添付してください。</p>
受験票等送付用封筒	本要項に添付の封筒に 切手（362円）を貼り 、志願者の住所、氏名、郵便番号を記入してください。
あ て 名 票	本要項に添付のあて名票用紙に、合格通知及び入学手続関係書類を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入してください。

注) 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

(2) 出願書類の受付期間

平成29年11月1日（水）から11月6日（月）まで

- 1) 持参する場合の受付時間は、土曜日、日曜日及び祝日を除く8時30分から17時までとします。
- 2) 郵送する場合は必ず書留速達とし、**受付期間内必着（11月6日（月）17時必着）**とします。
なお、受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。

(3) 出願方法及び出願先

- 1) 出願書類は一括して、本要項に添付の封筒に入れ、厳封のうえ持参又は郵送してください。
- 2) 出願書類のうち、外国の学校又は機関が作成する書類で日本語以外の場合は、必ず日本語訳を添付してください。
- 3) 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合には受理しないこともありますので十分注意してください。
- 4) 出願書類の提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電話 (0985) 58-7138
FAX (0985) 58-2865

4. 選抜方法

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、面接及び出願書類（**農学部植物生産環境科学科、応用生物科学科及び地域資源創成学部においては出身高等学校長からの調査書及び本人自筆の志望理由書**）の結果を総合して選抜します。

実施方法

学部	学科	種別	所要時間等及び内容
農学 部	植物生産環境科学科	面接	個人面接 30分程度 志望の動機、これまでの仕事内容と学問的関心、本学科に対する適性（高等学校で履修した英語、理科に関する基礎知識）、卒業後の進路、その他
	森林緑地環境科学科	面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	応用生物科学科	面接	個人面接 30分程度 社会人になる前の履歴の確認、社会人として今まで何を行ってきたか、本学科に対する適性（英語、化学と生物に関する基礎知識）、志望理由、卒業後の進路、その他
	海洋生物環境学科	面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	畜産草地科学科	面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
創地 成域 学資 部源	地域資源創成学科	面接	個人面接 30分程度 志望の動機、社会人として今まで何を行ってきたか、本学科への適性、卒業後の進路、コミュニケーション能力等

5. 試験日程及び試験場

試験日	学部	学力検査等	時間	試験場
平成29年11月22日(水)	農学部 地域資源創成学部	面接	9:00~	各学部 試験場

- (備考) 1. 受験する科目の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。
2. 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。

Ⅳ 私費外国人留学生入試

1. 実施する学部（学科・課程）及び募集人員

学部（学科・課程）		コース・専攻		募集人員
教育学部	学校教育課程	小中一貫教育コース	小学校主免専攻	各コース ・専攻 とも 若干人
			中学校主免専攻	
		教職実践基礎コース		
		発達支援教育コース	子ども理解専攻	
特別支援教育専攻				
医学部	医学科			若干人
工学部	環境応用化学科			各学科 とも 若干人
	社会環境システム工学科			
	環境ロボティクス学科			
	機械設計システム工学科			
	電子物理工学科			
	電気システム工学科			
	情報システム工学科			
農学部	植物生産環境科学科			各学科 とも 若干人
	森林緑地環境科学科			
	応用生物科学科			
	海洋生物環境学科			
	畜産草地科学科			
	獣医学科			
地域資源創成学部	地域資源創成学科			若干人

2. 出願資格

独立行政法人日本学生支援機構が6月と11月に実施する「平成29年度日本留学試験」において、「4. 選抜方法」（22ページ）に示す各学部・学科（課程）が指定する教科・科目を受験した者で、次の（1）から（3）まですべてに該当する者

（1）日本の国籍を有しない者

（2）次のいずれかに該当する者

ア）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（平成30年3月修了見込みの人を含む。）又はこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した者

イ）国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCE-Aレベル資格）のいずれかを有する者で平成30年3月31日までに18歳に達する者

（3）出入国管理及び難民認定法に基づく大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者

（4）農学部植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、畜産草地科学科及び獣医学科については、TOEFLを出願以前2年以内に受験している者

【注意】（1）日本の国籍を有しない者であっても日本の高等学校又はそれに相当する3年間の教育課程を履修し、かつ卒業した者（平成30年3月卒業見込みの者を含む。）については、この私費外国人留学生入試には出願できません。

（2）GCE-Aレベル資格の必要な科目数・評価については、宮崎大学学生支援部入試課（0985-58-7138）までお問い合わせください。

（3）「留学」の在留資格を有しない（取得しない）場合は、「留学生」としての取扱いができません。留学生に対する授業料減免や奨学金などの各種補助制度を利用できません。

3. 出願手続

(1) 出願書類

出 願 書 類	摘 要
入 学 志 願 票	本要項に添付の用紙を使用してください。
受 験 票 ・ 写 真 票	本要項に添付の用紙に所要事項を記入し、それぞれに同一の写真を貼付してください。写真は、正面上半身無帽（縦4cm×横3cm）で出願以前6か月以内に撮影したものを使用してください。
検定料振込証明書貼付台紙	下記検定料を納入後、銀行窓口において受領する「 C票 検定料振込証明書 」を本要項添付の台紙に貼付してください。
検 定 料 (17,000円)	本要項添付の検定料振込依頼書を使用し、銀行窓口において検定料を納入してください。
成 績 通 知 書 の 写	「平成29年度日本留学試験」の成績通知書（写）を提出してください。
履 歴 書 (医学部を除く)	本要項に添付の用紙を使用し、「学歴」欄については全て記入してください。
自 己 推 薦 書 (医学部医学科)	本学所定の用紙（綴込みのもの）に、本人自筆で記入してください。
卒業（修了）証明書 成績証明書 資格証明書等	次の①～⑤のいずれかを提出してください。 ① 出身高等学校（日本の高等学校に相当する学校） の卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書（出身学校長が作成したもの） ② 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書（写）及び最終試験6科目の成績評価証明書 ③ アビトゥア資格を取得した者は、成績の記載されている一般的大学入学資格証明書（写） ④ バカロレア資格を取得した者は、バカロレア資格証書（写）及びバカロレア資格試験成績証明書 ⑤ GCE-Aレベル資格を取得した者は、その成績評価証明書
TOEFL成績証明書 (農学部植物生産環境 科学科, 森林緑地環境 科学科, 畜産草地科学 科及び獣医学科のみ)	出願以前2年以内に受験したTOEFLの「Examinee Score Record」(写)を提出してください。
在留カードの写し(両面) 又は 住 民 票	在留カードの写し(両面)又は市区町村長の交付する住民票を提出してください。 外国人登録をしていない者については、 パスポート(写) を提出してください。
受験票等送付用封筒	本要項に添付の封筒に 切手(362円) を貼り、志願者の住所、氏名、郵便番号を記入してください。
あ て 名 票	本要項に添付のあて名票用紙に、合格通知を受け取る際の住所、氏名、郵便番号を記入してください。

注) 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

(2) 出願書類の受付期間

平成30年1月17日(水)から1月19日(金)まで

- 1) 持参する場合の受付時間は、8時30分から17時までとします。
- 2) 郵送する場合は必ず書留速達とし、**受付期間内必着(1月19日(金)17時必着)**とします。
なお、**受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵便事情を考慮して十分余裕をもって発送してください。**

(3) 出願方法及び出願先

- 1) 出願書類は一括して、本要項に添付の封筒に入れ、厳封のうえ持参又は郵送してください。
- 2) 出願書類のうち、**外国の学校又は機関が作成する書類で日本語以外の場合は、必ず日本語訳を添付してください。**
- 3) 出願書類に記入もれ、その他不備がある場合には受理しないこともありますので十分注意してください。
- 4) 出願書類の提出先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電話：(0985) 58-7138
FAX：(0985) 58-2865

4. 選抜方法

独立行政法人日本学生支援機構が6月と11月に実施する「平成29年度日本留学試験」のいずれかの成績並びに本学が行う学力試験等（学力検査、日本語による小論文、面接、実技等）の成績、TOEFLの成績（農学部植物生産環境科学科、森林緑地環境科学科、畜産草地科学科及び獣医科学科のみ）及び出身校等学校の各成績の結果を総合して選抜します。

◎「日本留学試験」出題教科・科目・・・**理系：日本語、理科、数学を受験してください。**
文系：日本語、総合科目、数学を受験してください。

学部	学科・課程等	日本留学試験			学力試験等
		利用「試験日」	利用「教科・科目」	出題言語の指定 (日本語以外の科目)	
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	6月・11月実施分のいずれかの成績を利用	①理系又は文系のいずれかを受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定する 「日本語によって出題されたものを受験すること」	小論文(日本語)、面接
医学部	医学科		①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学はコース2を受験すること	出題言語を指定する 「日本語によって出題されたものを受験すること」	学力検査 数学 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B 数Bの出題範囲は数列、ベクトルとします。 外国語 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ 面接
工学部	環境応用化学科 社会環境システム工学科 環境ロボティクス学科 機械設計システム工学科 電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科		①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学はコース2を受験すること	出題言語を指定しない	小論文(日本語)、面接
農学部	植物生産環境科学科 ※ 応用生物科学科 海洋生物環境科学科		①理系を受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定する 「日本語によって出題されたものを受験すること」	小論文(日本語)、面接 ・応用生物科学科では、面接を行う前に英語、化学及び生物の試問内容を提示し、面接でそれに関する口頭試問を行います。
	森林緑地環境科学科 ※ 畜産草地科学科 ※ 獣医科学科 ※		出題言語を指定しない		
創地成域学資源部	地域資源創成学科	①理系又は文系のいずれかを受験すること ②理科の科目選択は指定しない ③数学のコース選択は指定しない	出題言語を指定しない	小論文(日本語)、面接	

※ 出願資格として、TOEFLの成績証明書(写)の提出が必要。

実施方法

学部	学科・課程等	種別	所要時間等及び内容
教育学部	学校教育課程 小中一貫教育コース 小学校主免専攻 中学校主免専攻 教職実践基礎コース 発達支援教育コース 子ども理解専攻 特別支援教育専攻	小論文	1,000字程度 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望動機、本課程に対する適性、卒業後の進路等
医学部	医学科	外国語	90分 コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・英表Ⅰ・英表Ⅱ
		数学	120分 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（数Bの出題範囲は数列、ベクトルとします。）
		面接	日本語で行います。
工学部	環境応用化学科 社会環境システム工学科 環境ロボティクス学科 機械設計システム工学科 電子物理工学科 電気システム工学科 情報システム工学科	小論文	800字以内 60分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望動機、専門に関わる基礎能力及び適性等
農学部	植物生産環境科学科	小論文	1,000字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習内容と学問的関心、本学科に対する適性（高等学校で履修した英語、理科に関する基礎知識）、卒業後の進路、その他
	森林緑地環境科学科	小論文	1,000字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
	応用生物科学科	小論文	1,000字以内 90分
		面接	個人面接 30分程度 日本語の読み、書き、表現力の能力、本学科に対する適性（英語、化学と生物に関する基礎知識）、志望理由、卒業後の進路、その他
海洋生物環境学科	小論文	1,000字以内 90分	
	面接	個人面接 20分程度 志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他	
	畜産草地科学科	小論文	1,000字以内 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他
獣医科学科	小論文	1,000字以内 90分	
	面接	個人面接 15分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、その他	
創地成域学資 部源	地域資源創成学科	小論文	1,000字程度 90分
		面接	個人面接 20分程度 日本語能力、志望の動機、これまでの学習・活動、卒業後の進路、コミュニケーション能力、その他

5. 試験日程及び試験場

試 験 日	学 部	学力検査等	時 間	試 験 場
平成30年2月8日(木)	教 育 学 部 工 学 部 農 学 部 地域資源創成学部	小論文	9:00~	各 学 部 試 験 場
		面 接	11:00~	
	※農学部獣医学科のみ 11:15~			
平成30年2月25日(日)	医 学 部	外国語	9:00~10:30	
		数 学	11:30~13:30	
		面 接	14:00~	

- (備考) 1. 受験する科目の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。
2. 試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。
ただし、工学部の面接試験においては、指定された時間に遅れた場合、特別な事情がない限り面接を認めません。

V 共通事項

1. 注意事項

- (1) 出願書類受付後の志望学部、志望学科・課程（コース、専攻を含む）の変更は認めません。
- (2) 出願書類の不備なものは受け付けません。
- (3) 受付後の出願書類は返還しません。
- (4) 検定料が振り込まれていない場合又は、検定料が振り込まれていても振込済の「C票 検定料振込証明書」が検定料振込証明書貼付台紙に貼付されていない場合は出願を受理しません。
- (5) 出願書類を受理した後は、次の場合を除き振込済の検定料は返還いたしません。
- ① 検定料を振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合
 - ② 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- 返還請求の方法
- 検定料返還請求願（様式は問いません。返還請求理由、氏名（フリガナ）、現住所、電話番号、検定料返還先銀行口座（銀行名、支店名、口座種別、口座番号、口座名義（カタカナ））を明記したものを作成し、必ず「C票 検定料振込証明書」を添付のうえ、以下宛へ平成30年3月31日（必着）までに、速やかに郵送してください。
- 平成30年4月1日以降に申し出られた場合、返還に応じることはできませんのでご了承ください。
- 請求先 〒889-2192
宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学財務部財務課出納係 電話：0985-58-7122
- (6) 出願手続及び入学手続等において不正な行為があった場合は、合格又は入学を取り消すことがあります。

2. 受験票の交付

- (1) 帰国子女入試、社会人入試
受験票は、出願受付期間終了後本人あてに郵送します。11月17日（金）までに届かない者は、至急本学学生支援部入試課へ照会してください。
- (2) 私費外国人留学生入試
受験票は、出願受付期間終了後本人あてに郵送します。1月30日（火）（医学部においては2月9日（金））までに届かない者は、至急本学学生支援部入試課へ照会してください。

3. 障害等のある入学志願者の事前相談

次ページの表のような障害等があり、受験上及び修学上の配慮を必要とする者（教育学部においては、附属学校園及び公立学校での教育実習に際して配慮が必要と思われる者、医学部においては、附属病院及び関連教育病院等での臨床実習に際して支障があると思われる者、地域資源創成学部においては、インターンシップを含む実践教育に際して支障があると思われる者を含む）は、下記により相談申請書に医師の診断書を添えて、予め相談してください。

- (1) 相談期限
各入試の出願開始日の1ヶ月前までとします。
ただし、期限を過ぎている場合又は出願締切後に、不慮の事故のため受験上・修学上の配慮を必要とされる場合には、早急に本学学生支援部入試課へ連絡してください。
- (2) 相談方法
宮崎大学のホームページから相談申請書をダウンロードして次の内容を記載のうえ、医師の診断書を添えて、本学学生支援部入試課へ提出してください。
- ア 志願者氏名、入試区分、志望学部、志望学科・課程（コース・専攻を含む）
 - イ 障害等の種類・程度
 - ウ 受験上・修学上の配慮を希望する事項
 - エ 出身学校でとられていた配慮事項
 - オ 日常生活の状況
 - カ 住所及び連絡先の電話番号
- なお、必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る関係者との面談等を行うこともあります。
- ※相談申請書ダウンロード先：<http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/1789-2>
- (3) 相談先

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地
宮崎大学学生支援部入試課
電話 (0985)58-7138
FAX (0985)58-2865

区 分	障 害 の 程 度
①視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
②聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
③肢体不自由	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
④病 弱	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
⑤発 達 障 害	自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等のため配慮を必要とするもの
⑥そ の 他	①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とするもの

- 備考 1. 視力の測定は、万国式試視力表によるものとし、屈折異常があるものについては、矯正視力によって測定する。
2. 聴力の測定は、日本工業規格によるオーディオメータによる。

4. 受験上の注意事項

(1) 試験前日までの注意事項

ア 試験場については、試験前日の午後に各試験場の掲示板にて試験室等を確認してください。ただし、建物に立ち入ることはできません。

イ 重要なお知らせ等がある場合は、本学のホームページにてお知らせしますので、各自で確認してください。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam>

ウ 交通機関の運行状況等を確認のうえ、代替の移動手段（航空機が欠航した場合に鉄道で移動する等）を確認しておく等、遅刻することの無いよう、万全の準備を行ってください。

(2) 試験当日の注意事項

ア 入学試験当日の携行品

① **宮崎大学入学試験受験票**（必ず持参してください。）

② **筆記用具**〔鉛筆、消しゴム、コンパス、定規、鉛筆削り（電動式を除く）など〕

イ. 受験する科目の試験開始20分前までに試験室又は控室に入室してください。試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めます。ただし、工学部の面接試験においては、指定された時間に遅れた場合、特別な事情がない限り面接を認めません。

ウ. その他、本学の受験票の裏面に記載の「**試験場における注意事項**」を必ず確認してください。

(3) 入試Q&Aについて

出願書類・実施方法等に関して、問い合わせの多い事項をQ&A形式にまとめたものを以下の本学ホームページにて掲載しております。

URL : <http://www.miyazaki-u.ac.jp/exam/exam/q-anda>

5. 合格者発表

(1) 合格者発表日時

入 試 種 別	日 時	掲 示 場 所
帰国子女入試 社会人入試	(帰国子女) 教育学部・農学部・地域資源創成学部 (社会人) 農学部・地域資源創成学部 平成29年12月1日(金) 10時	宮崎大学学生支援部掲示板 (受験番号のみ掲示)
私費外国人留学生入試	教育学部・工学部・農学部・地域資源創成学部 平成30年2月27日(火) 10時 医学部 平成30年3月7日(水) 10時	

※医学部の合格者については、医学部講義実習棟玄関前にも掲示します。

※合格発表に関する電話等の照会には一切応じません。

(2) 合格通知

合格者には、合格通知書及び入学手続書類を送付します。

(3) 合格者発表当日の正午頃までに、合格者の受験番号をホームページ(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/>)に掲載しますが、これは情報サービスの一環として行うものであり、公式の合格者の発表は(1)に記載しているとおりです。

6. 入学手続等

(1) 入学手続期間

(帰国子女入試・社会人入試)

平成30年2月14日(水)まで(17時必着)

※原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

(私費外国人留学生入試)

平成30年3月15日(木)まで(17時必着)

※原則郵送としますが、やむを得ない事情により郵送で入学手続ができない場合は、事前に連絡の上、来学しての入学手続が可能です。

上記期間内に入学手続を完了しない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

(2) 入学手続方法

合格者は、入学手続期間内に入学手続書類を提出し、所定の入学料を納入のうえ、入学手続を完了してください。

(3) 納 入 金

① 入学料 282,000円

(注1) 入学料に改定があった場合は、改定後の入学料を納入していただくことになります。

(注2) 既納の入学料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還できません。

①入学手続をしなかった場合

②入学料を誤って二重に払い込んだ場合

② 授業料 前期分 267,900円 後期分 267,900円 年額 535,800円

(注1) 授業料は、新学期開始後にお支払いいただくことになります。

(注2) 授業料の納入は、原則として、預金口座からの「口座振替」とします。

前期の口座振替日は初年度は5月下旬頃、次年度以降は4月下旬頃の予定です。

後期の口座振替日は10月下旬頃の予定です。授業料に関する事項はホームページ

(<http://www.miyazaki-u.ac.jp/education/campus/jugyou/>)にてご確認ください。

(注3) 授業料に改定があった場合は、改定後の授業料を納入していただくことになります。

(注4) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

(4) 入学手続時の必要書類

合格者には、合格通知書、入学手続関係書類を送付します。必要事項を記入のうえ、これらの書類を提出してください。また、本学の受験票を提出してください。

(5) 入学料免除

次のいずれかに該当する特別な事情により、納入が著しく困難であると認められる者は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

ただし、免除を希望しても「免除の対象者」に該当しない場合は申請できませんので、事前に担当(学生生活支援課：0985-58-7976)へ必ず連絡してください。

① 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合

② 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合

③ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(6) 入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

- ① 経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

(7) 授業料免除及び徴収猶予

次のいずれかに該当する者は、本人の申請に基づき選考のうえ、授業料の全額又は一部を免除することがあります。

なお、授業料免除申請者は免除の可否が決定するまでの間、授業料の徴収が猶予されます。また、申請時期は大学の指定する日で前期・後期の年2回です。

- ① 経済的理由により授業料の納入が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる者
- ② 入学前1年以内において、本人の学資を主として負担している者が死亡した場合
- ③ 入学前1年以内において、本人若しくは本人の学資を主として負担している者が風水害等の災害を受けた場合
- ④ 前各号に準ずる場合であって、学長が相当と認める事由がある場合

入学料免除及び徴収猶予、授業料免除及び徴収猶予に関する問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7976（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(8) 奨学金

独立行政法人日本学生支援機構をはじめ都道府県・市町村・各種団体等による奨学金があります。これらはいずれも、人物、学業成績が優秀であり、経済的理由により学資支弁が困難な者を対象に本人の申請に基づき選考のうえ貸与又は給付されます。

また、修学意欲の向上及び学修研究活動の活性化を促し、優秀な人材の輩出をはかることを目的とし、学業成績の優秀な学生のますますの活躍を応援するため、本学独自の「夢と希望の道標」奨学金給付制度があります。

奨学金に関する問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7140, 7976, 7882（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(9) 教育用ノート型パソコンの購入・必携化について

国際社会におけるネットワーク化が進む中、「高度情報化時代に対応できる情報処理能力と倫理観を持った人材の育成」が必要となっています。

宮崎大学では、1年次の基礎教育開始時からコンピュータを使った文書作成、データを図表化する方法等の習得、ネットワークを利用して情報を受信・発信する能力の習得等、情報関連の教育を実施しています。また、専門教育に関しても、講義・実験のレポート作成や予習、復習のため、インターネットからの情報収集等が必要不可欠であります。

以上のことから、宮崎大学の教育方針をご理解いただくとともに、学生の皆さんには入学時に各個人でノート型パソコンをご準備していただくようお願いいたします。

追って、宮崎大学で最低限必要とするパソコンの性能等については、入学手続き時に再度ご案内いたします。

なお、医学部については、定められたパソコン端末により全国共通試験・演習等の実施の必要性から、所定のパソコンを設置していますので、個人所有のパソコンを携帯する必要はありません。

(10) 在学中の保険制度について

本学では、学生が安心して修学及び研究活動ができるように、学生教育研究災害傷害保険（略称「学研災」）及び学研災付帯賠償責任保険（略称「学研賠」、「医学賠」）を取り扱っています。

「学研災」は、修学及び研究活動中又は通学中に起こった不慮の事故により、加入者が身体に傷害を被った場合に災害補償する制度であり、基本的に全員加入としています。また、「学研賠」、「医学賠」は、加入者が修学及び研究活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する制度です。

これらの保険制度についての詳細と加入手続きについては、入学手続き書類と併せて送付します。

在学中の保険制度に関する問い合わせ先

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7135（土曜日・日曜日及び祝日を除く）

(11) 学生寄宿舍への入居

学生寄宿舍に入居を希望する者（外国人留学生を除く）は、下記①のとおり11月初旬に掲載する「学生寄宿舍入居申請要項」をダウンロードし、同要項にある「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。なお、ダウンロードできない方は、下記②のとおり「学生寄宿舍入居申請要項」を請求し、同要項に綴り込みの「入居許可申請書」等を同要項記載の期限までに提出してください。提出期限後の申請書は受理できませんので、入居を希望する者は必ず提出期限までに提出してください。

① ダウンロードによる「学生寄宿舍入居申請要項」の請求について

学生支援部ホームページ（<http://gakumu.of.miyazaki-u.ac.jp/gakumu/>）にある重要なお知らせの学生生活情報の欄をご覧ください。

② 郵送による「学生寄宿舍入居申請要項」の請求について

ア 請求方法：返信用封筒（角形2号、本人の住所・氏名・郵便番号を明記のうえ、140円分の切手を貼付したもの）を同封し、「学生寄宿舍入居申請要項（〇〇入試）〔該当する入試区分〕請求」と朱書のうえ、請求してください。

イ 請求先：〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

宮崎大学学生支援部学生生活支援課 電話：0985-58-7142

ウ 請求期限：平成30年1月5日（金）

※私費外国人留学生入試志願者は平成30年1月19日（金）

③ 学生寄宿舍の概要

寄宿舍名	男子寄宿舍	女子寄宿舍	国際交流宿舍
収容定員	100人	100人	165人
募集人員	6人	6人	11人
入居資格	学部男子学生	学部女子学生	学部学生（男・女）
入居許可期間	1年間（平成30年4月～平成31年3月）※4年間を保証するものではありません。		
寄宿料	月額7,000円		月額4,700円
構造	鉄筋コンクリート5階建		鉄骨鉄筋コンクリート8階建
居室定員	1人（個室）		
居室面積	9㎡	9㎡	11㎡
共用施設	補食室（自炊可能）、浴室、洗濯室、トイレ（国際交流宿舍は居室に設置）		
諸経費	光熱水費等 月額 8,000円程度		
所在地	〒889-2155 宮崎市学園木花台西1丁目1番地		

（注1）募集人員には、推薦入試合格者、AO入試合格者、帰国子女入試合格者、社会人入試合格者及び編入学試験合格者が含まれます。

（注2）在学中に寄宿料の改定が行われた場合は、改定時から新寄宿料が適用されます。

Ⅵ 個人情報の取扱いについて

(1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人宮崎大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

(2) 出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用します。

(3) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用します。

(4) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

Ⅶ 入学試験成績の情報開示

本学では、入学試験の結果について、各試験単位（学科、課程、コース等）毎に入学試験実施状況をホームページ等に掲載し公表していますが、試験成績（得点・評価・順位）の個人情報については、受験者本人からの請求に基づいて下記の要領で開示しますので、希望があれば必要な手続きを行ってください。

記

1. 開示請求者

本学が実施した平成30年度入学試験を受験した者

2. 開示請求の方法

受験者本人が「宮崎大学入試情報開示願」に必要事項を記入し、「本学受験票」、「開示通知用封筒(長形3号封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し402円切手を貼ったもの)」を学生支援部入試課に郵送又は持参してください。

※ 受験票は必ず原本を提出してください。コピーは認めません。受験票原本の提出がない者には、いかなる理由があっても情報開示を行いませんので、大切に保管しておいてください。

※ 「宮崎大学入試情報開示願」は、本学ホームページ（4月中旬に掲載予定）からダウンロードして使用してください。または、郵送（長形3号の返信用封筒に住所、氏名、郵便番号を明記し82円切手を貼ったものを封入）によるか来学により取り寄せてください。

3. 開示請求期間

平成30年5月7日（月）から同年6月1日（金）（必着）まで
（ただし、土曜日、日曜日及び祝日は除く。）

※ 5月18日（金）までの本学到着分は6月上旬頃に、それ以降の本学到着分は6月下旬頃に返送を予定しております。

4. 開示情報の内容

※ 入学試験成績による順位

（3人以下の合格者及び不合格者については、開示しない。）

Aランク：合格者の中で上位1/2の者

Bランク：合格者の中で下位1/2の者

Cランク：不合格者の中で上位1/2の者

Dランク：不合格者の中で下位1/2の者

5. 開示の方法

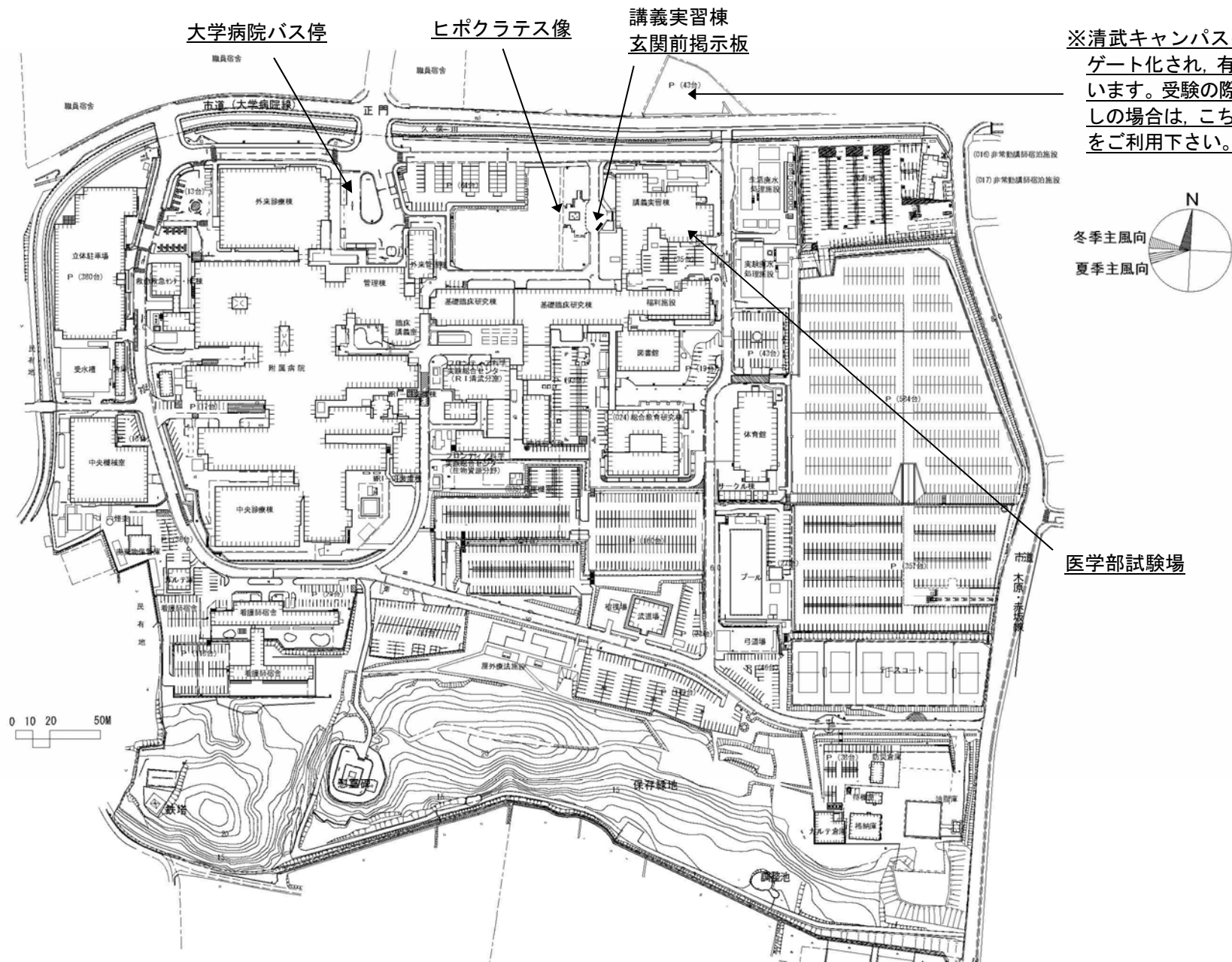
開示請求者宛てに希望する開示情報を記載した資料を簡易書留にて郵送します。

入学試験情報の開示に関する問い合わせ

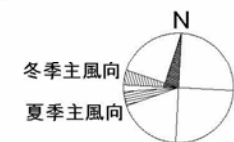
宮崎大学学生支援部入試課

（電話：0985-58-7138）

宮崎大学（清武キャンパス）入学試験場



※清武キャンパスの駐車場は
ゲート化され、有料となっています。受験の際、車でお越しの場合は、こちらの駐車場
をご利用下さい。

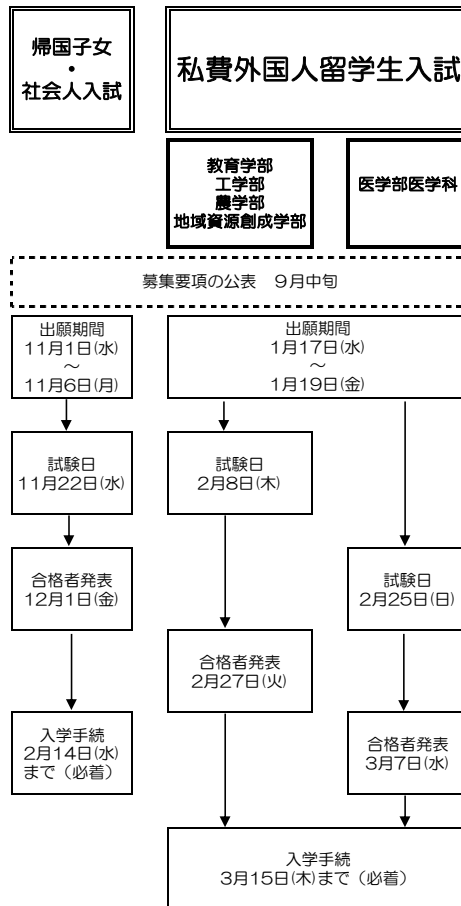


医学部試験場

各種問い合わせ先

入 試 全 般	・・・学生支援部入試課	(電話 0985-58-7138)
入 学 手 続	・・・学生支援部教育支援課	(電話 0985-58-7427)
授 業 料 納 入	・・・財務部財務課	(電話 0985-58-7122)
授 業 料 免 除	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7976)
奨 学 金	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7140)
学 生 寄 宿 舎	・・・学生支援部学生生活支援課	(電話 0985-58-7142)

入学者選抜試験日程 (平成29年11月～平成30年3月)



宮崎大学の入試に関するお問い合わせは

〒889-2192
 宮崎市学園木花台西1丁目1番地 宮崎大学学生支援部入試課
 電 話 0985-58-7138
 ホームページ <http://www.miyazaki-u.ac.jp/>